

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2019年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

2. 練習会場および練習について

- (1) 練習は指定された練習場で競技役員の指示に従うこと。特に100mスタート付近は危険防止に努めること。
- (2) 練習会場（補助陸上競技場・雨天練習場）での練習は、トラックのみとする。

3. 競技者の招集方法について

- (1) 招集所は、本競技場第1ゲート外側に設ける。
- (2) 各競技の招集開始時刻・完了時刻は、その競技開始時刻を基準とし下記のとおり実施する。

競 技	招集開始時刻	招集完了時刻
ト ラ ッ ク 競 技	競技開始 40分前	競技開始 20分前
走 高 跳 ・ 走 幅 跳 ・ 三 段 跳	競技開始 50分前	競技開始 30分前
棒 高 跳	競技開始 80分前	競技開始 60分前
投 て き 競 技	競技開始 50分前	競技開始 30分前
混成競技 (各日最初の競技種目のみ)	競技開始 50分前	競技開始 30分前

ただし、下記表の種目については、招集開始時刻並びに招集完了時刻を以下のとおり実施ので注意すること。

競 技	組	招集開始時刻	招集完了時刻
男子 100m	1組 ～ 12組	9 : 40	10 : 00
	13組 ～ 24組	10 : 10	10 : 30
	25組 ～ 35組	10 : 40	11 : 00
男子 200m	1組 ～ 8組	9 : 15	9 : 35
	9組 ～ 17組	9 : 35	9 : 55
男子 400m	1組 ～ 7組	11 : 25	11 : 45
	8組 ～ 14組	11 : 45	12 : 05
男子 1500m	1組 ～ 4組	12 : 40	13 : 00
	5組 ～ 8組	13 : 05	13 : 25

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者（チーム）は、出場できない。
- (4) リレー競走の出場チームは、当該競技第1組招集完了時刻の6.0分前までに、所定のリレーオーダー用紙に走順及び監督署名をし、競技者係（招集所）に提出すること。また、リレーオーダー用紙提出後は必ず、招集完了時刻までに招集手続きを完了すること。
- (5) 2種目を同時に兼ねる競技者は、2種目同時出場届を競技者係（招集所）に提出すること。

4. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは日本陸上競技連盟登録番号を、競技中は胸・背にはっきり見えるようにつけなければならない。跳躍競技の競技者は、胸または背につけるだけでよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、招集受付時に写真判定用腰ナンバーカードを受け取り、所定の位置に取り付け、競技終了後フィニッシュライン付近で競技役員に必ず返却すること。4×400mの第2・第3走者は、腰ナンバーカードを右腰に取り付ける。

5. 競技の抽選及び番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) トラック競技の走路順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載された順とする。
- (2) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びそのレーン順は、アナウンス及び記録掲示板にて発表する。
- (3) タイムによる次ラウンドに進む出場者の決定について、最後の1枠に同記録がある場合は、写真判定員主任が0.001秒の実時間を判定して決定する。それでも決定できない場合は抽選とする。（競技規則第167条2）

6. 競技について

- (1) その競技に出場している競技者以外は、競技場内（トラック・フィールド）に立ち入ることはできない。
- (2) スターターの合図は英語とする。（「On your marks : オン・ユア・マークス」, 「Set : セット」）
- (3) **競技規則第162条7により、不正スタートをした競技者(チーム)は1回で失格とする。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は失格とする。**（参照 混成競技は第200条8（C））
- (4) スタート時の不適切行為に関しては、スタート審判長によって警告（イエローカード）を与えられることがある。本競技会では、同一レースのイエローカード2枚で当該レースのみ失格（レッドカード）とする。ただし、本競技会では累積しない。
- (5) 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- (6) 次の競技では、その組がスタート後、以下の指定した時間が経過した時点でその組の競技を終了する。

	5000m	10000m	3000m障害	5000m競歩
男 子	20分00秒	40分00秒	12分00秒	30分00秒
女 子	20分00秒	40分00秒	—	38分00秒

(7) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になるまで以下のとおりとする。

種目	性別	練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳	男子	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	3cm
	女子	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	——	3cm
棒高跳	男子	3m40	3m60	3m80	4m00	——	——	10cm
	女子	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	3m00	10cm

(8) 棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置を競技が始まる前に当該競技役員に申し出ること。その後、位置を変更したい場合も当該競技役員に申し出る。

(9) 走幅跳・三段跳のピットは、Aピット：スタンド側、Bピット：トラック側とする。

(10) 三段跳の踏切板は、砂場から男子12m、女子9mの地点に設置する。

(11) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。

7. 混成競技について

(1) 招集は、1日目・2日目の最初の競技種目開始時刻30分前までに招集所で完了すること。以降の招集については行わない。

競技者は次の種目から競技役員（混成審判員）の指示に従い競技を実施する。

(2) 混成競技者の控室は、100mスタート側のウォームアップルームとする。

(3) 走高跳・棒高跳の競技開始の高さ及びバーの上げ方は競技者と協議のうえ決定する。

8. 競技用具について

(1) 競技に使用する器具は、原則として主催者が用意したものを使用しなければならない。

ただし、棒高跳のポールについては、個人所有のものを使用できるが、競技開始前に跳躍場において競技役員が検査を行う。

(2) 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2個までおくことができる。

また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけ使用することができる。

(3) 投てき用具については、個人所有の持ち込みを認める。

ただし、希望者は各競技開始60分前までに検査を受けること。また、検査に合格した用具は一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとする。

9. 競技用靴について

本競技場は全天候舗装であるため、スパイクピンの数は11本以内、長さは9mm以内とする。

ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。

10. 抗議・上訴について

発表された結果に対する抗議は、競技規則第146条に定められた時間内（同一日に次のラウンドが行われる場合には15分以内、それ以外は30分以内）に、競技者本人または代理人から担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、大会本部（No.9会議室）で待機する。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金（1万円）を添え、担当総務員を通じて上訴陪審員に文書で申し出ること。

11. 表彰について

各種目の第1位の競技者には賞状とメダル、第2位・第3位の競技者には賞状を授与する。

12. 更衣室について

(1) 本競技場の1階更衣室が利用できる。

(2) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は各自で管理する。

(3) 貴重品類等は各自で管理する。万一の紛失・盗難にあっても主催者はその責任を負わない。

13. 一般注意事項

(1) 大会本部は、本競技場1階No.9会議室に大会期間中設置する。

(2) 応急処置を必要とする事故が生じた場合は、大会本部に連絡をして処置を受ける。なお、応急処置後の治療は個人の負担とし、以後主催者は責任を負わない。

(3) プログラム記載事項に訂正がある場合は、出場競技の招集開始時刻前までに競技者本人もしくは代理人が大会本部に申し出て、訂正手続きを書面にて行うこと。

（手続き用紙は大会本部にて用意する）

(4) 競技結果等は記録処理終了後、随時記録掲示板及び岡山陸上競技協会ホームページに掲載する。

(5) 記録証明書を希望する競技者は、大会本部に一通300円を添えて申し出ること。

(6) 本大会で各種目（混成競技は除く。）第8位まで（5000m競歩は第3位まで）に入賞した競技者及び参加標準記録を突破した競技者で中国五県対抗陸上に出場希望者は、大会要項を了承のうえ、本競技会終了までに出場手続きを完了すること。

なお、参加申込みおよび宿泊申込みの書類は大会本部で用意している。